

厚生労働科学研究費補助金【エイズ対策政策研究事業】
HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究
(総合) 研究報告書

効果的な HIV 検査受検勧奨にかかる普及啓発の研究
(インターネットサイトの活用)

研究分担者 佐野 貴子 (神奈川県衛生研究所)
研究協力者 土屋 菜歩 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構)
研究協力者 須藤 弘二 (株式会社ハナ・メディテック)
研究協力者 近藤真規子 (株式会社ハナ・メディテック)
研究協力者 星野 慎二 (特定非営利活動法人 SHIP)
研究協力者 井戸田一朗 (しらかば診療所)
研究協力者 清水 茂徳 (東日本国際大学)
研究協力者 生島 嗣 (特定非営利活動法人 ぶれいす東京)
研究協力者 岩橋 恒太 (特定非営利活動法人 akta)
研究協力者 加藤 修吾 (株式会社 cinra)
研究協力者 今井 光信 (田園調布学園大学)
研究協力者 加藤 眞吾 (株式会社ハナ・メディテック)
研究協力者 市川 誠一 (金城学院大学)
研究協力者 白阪 琢磨 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)
研究協力者 今村 顕史 (東京都立駒込病院)

研究要旨

HIV 検査情報の効果的な普及啓発手段の一つであるインターネットを利用して、保健所等 HIV 検査相談施設情報や HIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供することにより、HIV/エイズの知識普及や理解促進、HIV 検査希望者への受検サポートを目的としたウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」

(<https://www.hivkensa.com>、以下 HIV サイトと略) の管理運営を行った。また、近年の梅毒感染者急増への対策の一助として、性感染症検査の施設情報検索や知識普及を目的としたウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」(<https://www.stikensa.com>、以下 STI サイトと略) を 2024 年 3 月に公開し、管理運営および掲載内容の充実を図った。「HIV 検査・相談マップ」および「性感染症検査・相談マップ」の情報提供効果を調査するため、アクセスアナライザーで利用状況等の解析を行った。「HIV 検査・相談マップ」については、保健所等 HIV 検査担当者を対象に利用状況に関するアンケート調査を実施した。また、2020 年に発生した新型コロナウイルス感染症流行に伴う保健所等 HIV 検査事業の中止・縮小状況の調査、および、2024 年 8 月末に HIV 迅速検査試薬の受注停止の発表がされ、保健所等即日検査施設で混乱が生じ、検査実施体制の変更を行った施設があったことから、その影響を調査した。

HIV サイトの年間サイトアクセス数は、2022 年は約 112 万件、2023 年は約 118 万件、2024 年は約 87 万件であり、2023 年は前年と比較して 5%増となったが、2024 年は前年と比較して 26%減となった。2024 年に減少した明確な要因は不明であるが、HIV 感染症への関心の低下に加えて、SNS 等での情報取得や検索行動の多様化があると考えられた。2022 年のサイトコンテンツのページビュー数は「これって、性感染症？」が最も多く、検索エンジンで一番多く使用された検索用語も「性病 症状」であったことから、梅毒感染症増加の関連報道に伴い性感染症情報ページの閲覧数が増加したものと思われる。

保健所等への HIV 検査相談に関するアンケート調査では、HIV サイトを閲覧したことがある担当者は、2022～2024 年で、保健所で 90～94%、特設検査施設で 83～100%、HIV サイトが HIV 検査相談事業に役立っていると回答した担当者は保健所で 63～76%、特設検査施設で 72～88%であった。保健所では、閲覧経験と事業に役立っていると回答した担当者の割合が増加していた。

新型コロナウイルス感染症流行に伴う保健所等 HIV 検査の中止・縮小割合は、第 3 回緊急事態宣言があった 2021 年 9 月時点では自治体数の約 55%であったが、2022 年は感染流行の第 7 波の収束および全数把握の見直しによって 10 月以降に 25%に減少、2023 年 5 月には 5 類感染症へ移行したことから保健所等 HIV 検査の再開が進み、12 月末時点で 2%にまで減少した。また、2024 年 8 月に生じた HIV 迅速検査試薬の受注停止では、保健所等即日検査施設の約 2 割で HIV 検査受付中止等の対応を取っていたことが分かった。

STI サイトの年間サイトアクセス数は約 18 万件であり、そのうちの 96%は 8 月に行われた厚生労働省の性感染症普及事業による広報により誘導されたものであった。検索用語は「性感染症」、「性病」では、検索順位の上位に表示されないことから、今後、SEO 対策を講じていく必要があると考える。

HIV サイトは 2001 年に HIV 検査研究班の公式サイトとして開設以来、2024 年末までに合計 2,870 万件的アクセスがあった。当サイトは保健所等 HIV 検査相談施設の情報を多く掲載しており、自治体の HIV/エイズ情報サイト、日本赤十字社の献血者への配布文書、NPO・民間企業等が作成する啓発用パンフレットなどで多方面に紹介され、行政的にも有効活用されている。また、STI サイトは、梅毒等の性感染症検査施設の情報提供していることから、自治体サイト等での活用が期待される。今後も正確で信頼される HIV・性感染症検査情報を提供していくとともに、HIV/エイズおよび性感染症の理解促進と、検査希望者の受検アクセス向上に寄与したい。

A. 研究目的

インターネットを利用して、保健所等 HIV 検査相談施設情報や HIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供することにより、HIV/エイズの知識普及や理解促進、HIV 検査希望者への受検サポートを目的としたウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>) の管理運営を行った。また、近年の梅毒感染者の急増対策への一助として、性感染症検査の施設情報検索や知識普及を目的としたウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」(<https://www.stikensa.com>) を 2024 年 3 月に公開し、管理運営および掲載内容の充実を図った。「HIV 検査・相談マップ」および「性感染症検査・相談マップ」の情報提供効果を調査するため、アクセスアナライザーで利用状況等の解析を行った。「HIV 検査・相談マップ」については、保健所等 HIV 検査担当者を対象に活用状況に関するアンケート調査を実施した。また、2020 年に発生した新型コロナウイ

ルス感染症流行に伴う保健所等 HIV 検査事業の中止・縮小状況の調査、および、2024 年 8 月末に HIV 迅速検査試薬の受注停止の発表がされたことにより、それに伴う混乱が保健所等即日検査施設で生じたことから、検査実施体制変更等の影響を調査した。

B. 研究方法

1. ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」運営

(1) 新規情報掲載、情報修正作業

保健所等検査相談施設および研究班の協力民間クリニックで実施されている常設の HIV 検査情報や不定期に実施される検査イベントの情報、また、HIV/エイズに関する基礎知識等について、ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(以下、HIV サイトと略)に掲載し、情報提供を行った(図 1)。PC サイトは 2001 年 9 月、携帯電話サイトは 2003 年 4 月に開設し、2009 年 10 月には PC サイトおよび携帯電話サイトのリニューアル

アル、2013年はスマートフォンサイトを開設し、2019年6月にはPCサイトとスマートフォンサイトについてトップページ操作性向上のためのレイアウト変更を行った。2021年3月にはサイトの全面リニューアルとして、コンテンツ管理システム（CMS）の変更および新規デザインの作成を行い、レスポンス対応のリニューアルサイトを公開するとともに、携帯電話サイトの運用を終了した。

定期更新作業としては、毎年2月に新年度の検査日程等の情報確認のため、自治体および医療機関に新年度情報確認依頼文書を送付し、3月中旬から修正作業を順次実施した。また通年の作業として、検査施設の新規掲載、掲載情報修正および検査イベント情報の掲載等を行った。

（2）HIVサイト利用状況の調査 ―Web解析―

HIVサイトのアクセス解析には「Google Analytics」および「検索順位ツールGRC」を用いた。Google Analyticsは2023年7月1日からユニバーサルアナリティクス（UA）からGoogleアナリティクス4（GA4）に切り替わり、ページのセッション単位からユーザーのイベント単位でデータを計測する分析ツールとなった。これまで本サイトで解析してきたセッション数の収集が可能なデータもあったが、収集できないデータもあり、一部の解析はセッション単位からユーザー単位の解析に切り替えた。①サイトアクセス数（セッション数：年別、月別、日別）、②セッション数とユーザー数の年次推移、③情報端末別ユーザー割合、④チャネル別ユーザー割合、⑤検索エンジン（Google）での検索クエリ別順位、⑥参照元からのアクセス数、⑦サイトコンテンツの表示回数、⑧アクセス地域およびアクセス言語、⑨外国語ページのページビュー数を調査し、利用者の動向およびHIV/エイズ関連報道によるアクセス数の影響等を解析

した。

（3）HIV サイト活用状況の解析 ―アンケート調査―

保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に関する調査（研究分担者 土屋菜歩先生）において、保健所および特設検査施設の HIV 検査担当者に対し、当サイトの利用状況や HIV 検査相談事業への活用等に関するアンケート調査を実施した。

（4）新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自治体HIV検査の実施状況調査

2020年1月に新型コロナウイルスの国内初感染事例の報告があり、2月には感染症法の指定感染症に位置づけられた。3月には新型インフルエンザ等対策特別措置法の対象となり、2021年2月には感染症法の改正により新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）に位置づけられた。2020年4月以降の感染拡大によって2021年9月までに3回の緊急事態宣言が発令された。2022年も感染流行が継続したが、3月にまん延防止等重点措置が終了となり行動制限が緩和され、7月には第7波が生じて9月に収束した。9月26日からは全数届出の見直しがあり、保健所等HIV検査の再開が進んだ。再び11月からは第8波が生じ2023年2月に収束した。2023年5月8日には5類感染症へ移行し、一律に基本的感染対応を求められなくなったことにより、保健所等HIV検査の再開がさらに進んだ。しかしながら、その後も新型コロナウイルス感染症は7月から第9波、2024年1月からも感染流行が生じていたことから、HIV検査の中止または縮小の措置を行った自治体数やHIV検査施設数の調査を継続した。2020年4月からサイト上に自治体HIV検査を受検する際の注意事項をポップアップで表示させ、2023年6月に注意表示を終了した。また、新型コロナウイルス感染症の流行状況により変更されるHIV検査日程等については、インターネット上の全国自

治体サイトのHIV検査情報ページで閲覧調査し、随時情報修正作業を行った。

(5) 迅速検査試薬受注停止に伴う影響の調査

2024年8月末にHIV迅速検査試薬（ダイナスクリーン HIV Combo）の生産遅延による受注停止および出荷制限の発表がされた。それに伴う混乱が保健所等即日検査施設で生じ、検査実施体制の変更を行った施設があったことから、その影響を調査した。

2. ウェブサイト「STI検査・相談マップ」運営

(1) 新規情報掲載、情報修正作業

保健所等検査相談施設および研究班の協力民間クリニックで実施されている常設性感染症検査の情報や不定期に実施される検査イベントの情報、また、性感染症に関する基礎知識等について、ウェブサイト「STI検査・相談マップ」

（以下、STIサイトと略）に掲載し、情報提供を行った（図2）。STIサイトはHIVサイトの姉妹サイトとの位置づけで2024年3月に公開し、本年度は管理運営および掲載内容の充実を図った。

(2) STIサイト利用状況の調査 ―Web解析―

HIVサイトと同様に「Google アナリティクス4」および「検索順位ツール GRC」を用いてアクセス解析を行った。

(3) STIサイト活用状況の解析 ―アンケート調査―

保健所・検査所におけるHIV検査・相談体制に関する調査（研究分担者 土屋菜歩先生）において、保健所および特設検査施設のHIV・性感染症検査担当者に対し、STIサイトの認知度に関するアンケート調査を実施した。

C. 研究結果

1. ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」運営

(1) 新規情報掲載、情報修正作業

2022年は検査イベント情報掲載依頼113件、情報修正依頼285件、2023年は検査イベント情報掲載依頼163件、情報修正依頼421件、2024年は検査イベント情報掲載依頼177件、情報修正依頼604件（うち検査施設からの依頼482件）の更新作業を行った（図3）。

(2) サイト利用状況の調査 ―Web解析―

PCサイト、スマートフォンサイトおよび携帯電話サイトでの2001年からの合計アクセス数は約2,867万件となった（図4）。HIVサイトの年間サイトアクセス数（セッション数）は、2022年は約112万件、2023年は約118万件、2024年は約87万件であり、2023年は前年と比較して5%増となったが、2024年は前年と比較して26%減となった。Google Analyticsは2023年7月1日からUAからGA4に切り替わり、ページビューのセッション単位からユーザーのイベント単位でデータを計測する分析ツールとなったことから、セッション数およびユーザー数の年次推移を見たところ、2020年以降、ユーザー数はセッション数の約8割であり、2024年のユーザー数は2023年の30%の減少であることが分かった（図5）。

月別アクセス数は、2022年1～6月は過去4年間の同月を下回り横ばいに推移したが、7月以降は2021年を上回り、2020年の同月のアクセス数にまで戻った（図6）。2023年は、1～6月は2022年の同月を上回り推移したが、7月以降は2022年を下回った。2024年は、2023年を下回り、月平均7万件前後で推移した。日別のユーザー数では、1日5,000アクセスを超えた日は、2022年は3日（図7）、2023年は3日（図8）、2024年は1日であった（図9）。

情報端末別ユーザー数の割合は、2024年はスマートフォンからのユーザー数が81%であった（図10）。チャネル別ユーザー数の割合では、2024年

は検索エンジンからのアクセスが 87%、直接アクセスが 10%、他サイトからのアクセスが 3%、SNS からのアクセスが 0.3%であった（図 11）。

検索エンジン（Google）における検索クエリ別の月別検索順位をみたところ、2022 年は「HIV」では上半期（1～6 月）で 4～8 位、下半期（7～12 月）で 1 位、「エイズ」では上半期で 4～11 位、下半期で 2 位、「AIDS」では上半期で 5～17 位、下半期で 4～5 位、「性病」では、上半期で 4～30 位、下半期で 4～5 位、「梅毒」では上半期で 15～52 位、下半期で 4～5 位で推移した。「HIV」、「エイズ」、「AIDS」と「検査」の用語の組み合わせ、また、「HIV」と「test」の用語の組み合わせではすべて 1 位に表示された。「HIV」、「検査」、「キット」の用語の組み合わせでは、上半期で 6～13 位、下半期で 5～7 位であった（図 12）。2023 年「HIV」では通年で 1 位、「エイズ」では 1～3 位、「AIDS」では 2～6 位、「性病」では 2～5 位、「梅毒」では 9～55 位で推移した（図 13）。「HIV」、「エイズ」、「AIDS」と「検査」の用語の組み合わせ、また、「HIV」と「test」の用語の組み合わせではすべて 1 位に表示された。「HIV」、「検査」、「キット」の用語の組み合わせでは、通年で 4～11 位であった。2024 年は「HIV」では通年で 1～2 位、「エイズ」では 1～6 位、「AIDS」では 2～6 位、「性病」では 2～4 位、「梅毒」では 5～35 位で推移した（図 10）。「HIV」、「エイズ」と「検査」の用語の組み合わせ、また、「HIV」と「test」の用語の組み合わせでは通年で 1 位に表示された。「HIV」、「検査」、「キット」の用語の組み合わせでは、通年で 9～15 位であった（図 14）。

検索エンジン（Google）での検索に用いられたクエリ別の順位を 10 位まで調査したところ、2022 年に検索エンジンで当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索用語は「性病 症状」であり、以下、「HIV」、「エイズ」、「梅毒」、「HIV 検

査」と続いた（図 15）。これらの用語での検索エンジンでの平均掲載順位は 1.1～6.8 であった。また、6 位以降には「HIV とは」、「エイズとは」、「エイズ検査」、「HIV 感染率」、「梅毒症状」と続き、検索用語の平均掲載順位は 1.2～7.3 であった。2023 年は「HIV」であり、以下、「エイズ」、「HIV 検査」、「エイズとは」、「HIV とは」の順で、これらの用語での検索エンジンでの平均掲載順位は 1.1～2.5 であった（図 16）。また、6 位以降には「性病検査」、「性病」、「エイズ症状」、「HIV 心配しすぎ」、「性病検査 無料」と続き、検索用語の平均掲載順位は 3.1～6.3 であった。2024 年は「HIV」であり、以下、「HIV 検査」、「エイズとは」、「エイズ」、「HIV とは」の順で、これらの用語での検索エンジンでの平均掲載順位は 1.2～4.0 であった（図 17）。また、6 位以降には「性病」、「エイズ症状」、「梅毒症状」、「梅毒」、「性病症状」と続き、検索用語の平均掲載順位は 4.6～8.7 であった。

参照元からのユーザー数を見たところ、2022 年から 2024 年まで Google 検索からが最も多く、続いて Yahoo! JAPAN 検索、直接アクセスであった（図 18～20）。

HIV サイトコンテンツの表示回数は、2022 年は約 194 万件、2023 年は約 203 万件、2024 年は約 153 万件で、一番よくみられたページは 2022 年は「これって、性感染症？」、2023 年は「全国検索結果一覧」、2024 年は「検査・相談施設を探す」であった。（図 21～23）。

検査・相談施設別表示回数は、2022 年から 2024 年まで「chot CAST（大阪検査相談・啓発・支援センター）」が最も多く、次いで「東京都新宿東口検査・相談室」、「札幌市中央保健センター」、「神戸市保健所」であった（図 24～26）。

HIV サイトへのアクセス地域は、2022 年は日本から約 88 万人、米国 3,078 人、中国 2,217

人、2023年は日本からが約93万人、米国2,684人、中国2,088人、2024年は日本からが約64万人、中国2,883人、米国2,520人であった（図27-29）。アクセス言語は、2022年は日本語が約87万人、英語が22,067人、中国語が4,715人、2023年は日本語が約91万人、英語が25,107人、中国語が6,167人、2024年は日本語が約63万人、英語20,448人、中国語5,771人であった。外国語ページ（英語、スペイン語、タイ語、タガログ語、ベトナム語、ポルトガル語、韓国語、中国語およびやさしい日本語）のページビュー数は、2022年は英語ページが4,751件、ベトナム語が2,023件、やさしい日本語が1,095件、中国語が892件、2023年は英語ページが7,533件、ベトナム語が1,986件、やさしい日本語が1,489件、中国語が1,198件、2024年は英語ページが7,147件、ベトナム語が1,900件、やさしい日本語が1,485件、中国語が916件であった（図30）。

（3）HIV サイト活用状況の解析 アンケート調査

全国保健所および特設検査施設に対して実施した HIV 検査相談に関するアンケート調査において、当サイトの利用状況や HIV 検査相談事業への貢献度に関する質問を HIV/エイズ対策担当者に質問した。「当サイトを閲覧したことがあるか」の設問に対しては、「ある」との回答は保健所で2022年90%、2023年93%、2024年94%、特設検査施設で2022年100%、2023年88%、2024年83%（図31）、「新型コロナウイルス感染症により HIV 検査日程が変更・中止になった際に当サイトに修正依頼を送ったか」の設問（2022年のみ）では、「はい」の回答は保健所21%、特設検査施設59%（図32）、「当サイトが事業に役立っていると思うか」の設問では、「思う」の回答は保健所で2022年63%、2023年76%、2024年76%、特設検査施設で2022年88%、2023年82%、2024

年72%であった（図33）。

（4）新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自治体HIV検査の実施状況調査

新型コロナウイルス感染症流行に伴う保健所等 HIV 検査の中止・縮小割合は、第3回緊急事態宣言があった2021年9月時点では自治体数の約55%であったが、2022年は感染流行の第7波の収束および全数把握の見直しによって10月以降は25%に減少、2023年5月には5類感染症へ移行したことから保健所等 HIV 検査の再開が進み、12月末時点では2%にまで減少した（図34-37）。

（5）迅速検査試薬受注停止に伴う影響の調査

2024年8月末に迅速検査試薬（ダイナスクリーン HIV Combo）の生産遅延による受注停止および出荷制限の発表がされた（図38）。保健所等即日検査施設で一部検査中止等の対応が取られたことから、HIV サイトおよび STI サイト閲覧時に注意喚起文をポップアップ表示した（図39）。また、保健所等即日検査施設で混乱が生じたことから、検査実施体制変更等の影響を調査した。8月末に受注停止がされ、検査体制を変更した施設数は、9月20日時点で27施設、10月1日時点で46施設、10月9日時点で57施設と増加したが、9月末に海外販売向け製品の臨時出荷がされ、さらに12月16日には出荷が再開されたことから、検査体制を元に戻す施設も増加した（図40）。2025年1月14日時点の検査体制変更施設合計数は69施設であり、うち52施設（75%）が元の検査体制に戻ったが、未だに HIV 検査受付中止が1施設、検査縮小が2施設、一時的に即日検査中止が8施設、即日検査から通常検査に体制変更が6施設あり、17施設は影響を受けたままとなっていることが分かった。保健所等即日検査を実施している364施設の約2割で HIV 検査受付中止等の対応が取られていたことが分かった。

2. ウェブサイト「STI検査・相談マップ」運営

(1) 新規情報掲載、情報修正作業

2024年は性感染症検査を実施している保健所等検査相談施設659箇所の検査情報の掲載を行い、検査イベント情報依頼177件、情報修正依頼601件（うち検査施設からの依頼482件）の更新作業を行った（図41）。

(2) STI サイト利用状況の調査 ―Web 解析―

STI サイトは2024年3月に公開し、2024年4月から12月のサイトアクセス数（セッション数）は183,037件であった（図42）。そのうち175,492件は8月1日から31日に厚生労働省の性感染症啓発事業で実施された広告掲載（X 広告、ヘブネット GATE 広告）により誘導されたものであった（図43）。

検索エンジン（Google）における検索クエリ別の月別検索順位をみたところ、「性感染症検査では」8月以降で8～92位、「性感染症検査相談」では2～4位、「性感染症検査相談マップ」では1～2位であったが、「性感染症」、「性病」の検索用語では検索順位の上位に表示されなかった（図44）。

検索エンジン（Google）での検索に用いられたクエリ別の順位を10位まで調査したところ、2024年に検索エンジンでSTIサイトを閲覧する際に多く使用された検索用語は「性感染症 相談」で平均掲載順位は13.1であった（図45）。

(3) STI サイト活用状況の解析―アンケート調査―

保健所・検査所におけるHIV検査・相談体制に関する調査（研究分担者 土屋菜歩先生）において、保健所および特設検査施設のHIV/STI検査担当者に対し、STIサイトの認知度に関するアンケート調査を実施したところ、保健所の87%、特設検査施設の72%で認知されていた（図46）。

D. 考察

HIVサイトの年間サイトアクセス数（セッション数）は、2022年は約112万件、2023年は約118万件、2024年は約87万件であり、2023年は前年と比較して5%増となったが、2024年は前年と比較して26%減となった。2024年に減少した明確な要因は不明であるが、HIV感染症への関心の低下に加えて、SNS等による情報取得や検索行動の多様化があると考えられた。

情報端末別ユーザー数の割合は、スマートフォンからのユーザー数が81%を占めており、スマートフォンでの表示を主としたサイト構成が重要と思われた。チャネル別ユーザー数の割合では、検索エンジンからのアクセスが87%、直接アクセスが10%、他サイトからのアクセスが3%、SNSからのアクセスが0.3%であり、SNSからのアクセス割合が依然として少ないことが分かった。参照元からのユーザー数は検索サイトからがほとんどを占めたが、X（旧 Twitter）リンクからのアクセスも見られたことから、さらにSNSリンクからのアクセス数を増加させる方法を検討していく必要があると思われた。

検索エンジンで当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索用語は、2022年は「性病 症状」であり、2023年と2024年は「HIV」であった。しかし、2023年と2024年の10位以内には「性病検査」、「性病」、「性病検査 無料」、「梅毒症状」、「梅毒」、「性病症状」の用語があることから、HIVサイトに性感染症に関する検索用語でのアクセスが多いことが分かった。2024年3月にSTIサイトを開設し、12月までに18万件のアクセスがあったが、そのアクセス数のほとんどが8月に厚生労働省の性感染症啓発事業で実施された広告掲載によって誘導されたものであり、他の月はSTIサイトのアクセス数が増加していない。STI

サイトの検索エンジンでの表示順位が上位にあることでアクセス数が増えることが期待されることから、今後は STI サイトの SEO 対策に力を入れて行きたいと考える。

HIV サイトコンテンツのページビュー数は、2022 年は「これって、性感染症？」が多かったが、2023 年と 2024 年では「検査・相談施設を探す」が多く、2022 年は梅毒感染症増加による関連報道に伴い、性感染症情報ページの閲覧数も多かったものと思われた。

HIV サイトへのアクセス言語は、日本語ユーザーが 95%を占めていたが、外国語ユーザーも 5%存在していた。外国語ページのアクセス数は、2022 年は英語ページ 4,751 件・ベトナム語 2,023 件・やさしい日本語 1,095 件・中国語 892 件であったが、2023 年は英語ページ 7,533 件・ベトナム語 1,986 件・やさしい日本語 1,489 件・中国語 1,198 件、2024 年は英語ページ 7,147 件・ベトナム語 1,900 件・やさしい日本語 1,485 件・中国語 916 件であり、実際の外国語ユーザー数よりも少ないことから、外国語ユーザーは日本語ページを翻訳機能で利用していることも示唆された。2022 年 10 月 11 日に外国人の新規入国制限の見直し以降、在留外国人や訪日外国人観光客が急激に増加していることから、日本での HIV 検査体制を周知する上でも本サイトは役立つものとする。

2020 年以降の新型コロナウイルス感染症流行に伴う保健所等 HIV 検査の中止・縮小割合は、第 3 回緊急事態宣言が発令された 2021 年 9 月時点では自治体数の約 55%であったが、2022 年は感染流行の第 7 波の収束および全数把握の見直しによって 10 月以降に 25%に減少した。さらに、2023 年 5 月には 5 類感染症へ移行したことから保健所等 HIV 検査の再開が進んだことで、12 月末時点で 2%にまで減少した。

2024 年 8 月末に迅速検査試薬（ダイナスクリ

ーン HIV Combo）の生産遅延による受注停止および出荷制限の発表がされ、保健所等即日検査施設で混乱が生じ、一部検査中止等の対応が取られたことから、検査実施体制変更等の影響を調査したところ、2025 年 1 月時点での即日検査の体制変更施設合計数は 69 施設であり、保健所等即日検査を実施している 364 施設の約 2 割で HIV 検査受付中止等の対応が取られていたことが分かった。69 施設中 52 施設（75%）は元の検査体制に戻ったが、未だに 17 施設は影響を受けたままとなっている。現状、国内の体外診断薬として承認されている迅速 HIV 検査試薬の製造会社は 1 社しかなく、生産拠点数も 1 か所しかないことから、今回のような不測の事態に備えて、即日検査体制の代替案を事前に検討しておく必要があることを認識した。

保健所等への HIV 検査相談に関するアンケート調査では、2022～2024 年に HIV サイトを閲覧したことがある担当者は保健所で 9 割以上、特設検査施設で 8 割以上であり、多くの担当者に認識されていることが分かった。HIV サイトが HIV 検査相談事業に役立っていると回答した担当者は保健所で 6 割以上、特設検査施設で 7 割以上であり、保健所では年々増加していたが、特設検査施設では減少傾向にあり、担当者の変更等も考えられることから、当サイトの周知に努めていきたい。また、STI サイトを閲覧したことがある担当者は保健所で 87%、特設検査施設で 72%であり、保健所と特設検査施設の 7 割以上の担当者が閲覧経験のあることが分かった。

HIV サイトは HIV 検査研究班の公式サイトとして 2001 年に開設し、2024 年末までに約 2,870 万件のアクセスがあった。全国の保健所等 HIV 検査相談施設の情報を提供するとともに、HIV/エイズ情報提供ページとしても機能している。また、当サイトは自治体の HIV/エイズ情報媒体、日本

赤十字社の献血者への配布文書、啓発用パンフレット等、多方面で紹介され、行政的にも有効活用されている。また、STI サイトは、梅毒等の性感染症検査施設の情報提供をしていることから、自治体サイト等での活用が期待される。今後も正確で最新の HIV/性感染症検査情報を提供していくとともに、更なる HIV/性感染症の理解促進と、検査希望者の受検アクセスの向上に寄与したい。

E. 結論

効果的な HIV 検査の普及啓発の一助として、ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」を運営し、保健所等 HIV 検査相談施設の最新情報や HIV 検査に関する基礎知識等の情報を継続的に提供した。また、近年の梅毒感染者の急増への対策の一助として、性感染症検査の施設情報検索や知識普及を目的としたウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」を 2024 年 3 月に公開し、管理運営および掲載内容の充実を図った。アクセス解析から、利用状況や閲覧ページの動向等を調査した。

HIV サイトのサイトアクセス数は、2022 年は約 112 万件、2023 年は約 118 万件、2024 年は約 87 万件であり、2023 年は前年と比較して 5%増となったが、2024 年は前年と比較して 26%減となった。2024 年に減少した明確な要因は不明であるが、HIV 感染症への関心の低下に加えて、SNS での情報取得や検索行動の多様化があると考えられた。

STI サイトのサイトアクセス数は、2024 年は約 18 万件であり、そのうち 96%は 8 月に行われた厚生労働省の性感染症普及事業による広報により誘導されたものであった。検索用語は「性感染症」、「性病」では検索エンジンの上位に表示されないことから、SEO 対策を講じていく必要がある。

保健所等アンケート調査結果から、HIV サイトを閲覧したことがある担当者は保健所で 9 割以上、

特設検査施設で 8 割以上であり、多くの担当者に認識されていることが分かった。今後も保健所等 HIV/性感染症検査相談事業に寄与することにより、HIV/性感染症検査希望者への受検サポートに努めたい。

<サイト URL・掲載情報転載依頼>

※サイト事務局把握分のみ記載

(2022 年)

1. 医学書院『耳鼻咽喉科・頭頸部外科』編集室、総説「《口腔・咽頭・唾液腺の検査》 性感染症の検査」で「HIV 検査まめ知識」ページの<HIV 感染とウイルスマーカー>の図を掲載
2. NPO 法人ピルコン、啓発資材①緊急避妊薬の啓発パンフレット、②性の健康教育教材キット・カード型教材、で当サイト URL を紹介
3. 国立国際医療研究センター国際医療協力局、冊子「日本ではたらくベトナム人のための健康ハンドブック」でベトナム語ページ(ベトナム語相談窓口)を紹介
4. 株式会社童夢、KADOKAWA より出版の児童書『わたしの心と体を守る本』で当サイト URL を紹介
5. 沖縄県中学校体育研究会、中学校保健「エイズの予防」学習資料において、「HIV・エイズって何？」ページの「11. 世界の状況」の図を転載
6. 広島市医師会臨床検査センター、広報誌「臨床検査センターだより」において、「HIV 検査まめ知識」ページの<HIV 感染とウイルスマーカー>の図を掲載
7. NPO 法人性暴力被害者支援センター・ひょうご、サイト「性暴力被害者のためのバーチャルワンストップ支援センター」に当サイト URL を紹介
8. ギリアド・サイエンシズ社、冊子「HIV のことと知りたいたい」で当サイト URL を紹介

9. 国立感染症研究所感染症危機管理研究センター、メディア対象のウェビナー（テーマ：HIV）で当サイトトップページのキャプチャ画像を使用

10. 株式会社ネクイノ、スマルナアプリ（ピルのオンライン診察・処方）で「HIV・エイズって何？」ページの＜HIV 感染からエイズ発症まで＞の図を転載

（2023 年）

1. 埼玉医科大学、セクシャリティ教育教材に当サイト URL を紹介
2. 東海大学、小冊子「セクシャルマナー読本」に当サイト URL を紹介
3. ジェクス株式会社、冊子「LOVE GUIDE BOOK」に当サイト URL を紹介
4. 宮崎市保健所、動画「今、梅毒が流行中？」、「もしかして？と思ったら」、画像「口の中に出る症状」、「皮膚に出る症状」をみやぎきアートセンターでの梅毒・HIV の普及啓発及び検査会場で展示
5. 厚生労働省、出入国在留管理庁で作成の資料「一元的相談窓口 Q & A」に当サイト URL を紹介
6. ルナドクター株式会社 帝国衛生検査所、郵送性病検査「FemCEHCK」での陽性結果画面表示ページに当サイト URL を紹介
7. 国立国際医療研究センター医療情報室、ACC ウェブサイトリンク集に当サイト URL を紹介
8. 厚生労働省、肝炎予防啓発リーフレット「知って、肝炎」で当サイト URL を紹介
9. 集英社 SPUR.JP、記事「性感染症になってしまったかも」と不安になったら、で当サイト URL を紹介
10. 株式会社 TENGA、性病予防リーフレットで当サイト URL を紹介
11. メディア株式会社、ポケットブック＋ウェブ

サイト「歯科衛生士パスポート Web」で当サイト URL を紹介

（2024 年）

1. 日東書院本社（辰巳出版グループ）、単行本「女性の心と体の悩みがスーッと消える 13 歳から一生モノの 膣と子宮の取り扱い大全」に HIV サイト URL を紹介
2. 高等学校保健体育教科書、HIV サイト画面キャプチャ紹介
3. 集英社 SPUR.JP、保健所検査体験レポートで HIV サイトの利用法を紹介
4. 東海大学、小冊子「大学生のための性的同意ハンドブック～互いを尊重しあう学生生活のために～」で HIV サイト URL を紹介
5. 株式会社 TENGA ヘルスケア、ウェブページ「おとなセイシル」に当サイト URL を紹介
6. 宮崎市保健所、「性感染症まちかど出張予防啓発・検査事業」で STI サイト動画「今、梅毒が流行中？」、「もしかして？と思ったら」、画像「口の中に出る症状」、「皮膚に出る症状」を紹介
7. 国立病院機構甲府病院、冊子「HIV・STI 予防啓発キャンペーン」に HIV サイト URL を紹介
8. 国立国際医療研究センター ACC 医療情報室、ACC パネル展で HIV サイト URL を紹介

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 豊倉いつみ、佐野貴子、櫻木淳一、チョンピンフィー、森壘、鳥巢浩幸、奥村彰久、吉良龍太郎、多屋馨子. 急性弛緩性麻痺 (AFP)に関する全国実態調査（一次調査）. 日本小児科学会雑誌、129(1):44-47、2025.
- 2) 椎野禎一郎、潟永博之、今橋真弓、渡邊大、南留美、蜂谷敦子、西澤雅子、林田庸総、

吉田繁、豊嶋崇徳、伊藤俊広、古賀道子、貞升健志、佐野貴子、宇野俊介、谷口俊文、猪狩英俊、寒川整、中島英明、吉野友祐、堀場昌英、茂呂寛、渡邊珠代、阪野文哉、川畑拓也、藤井輝久、高田清武、中村麻子、仲村秀太、松下修三、吉村和久、杉浦互、菊地正、薬剤耐性 HIV 調査ネットワーク、国内 HIV-1 伝播クラスターの 2022 年の動向:薬剤耐性 HIV 調査ネットワークによる SPHNCS 年報、日本エイズ学会誌、26、3、139-150、2024。

- 3) 川畑拓也、阪野文也、浜みなみ、長島真美、河上麻美代、貞升健志、佐野貴子、加藤真吾、須藤弘二、近藤真規子、今村顕史。地方衛生研究所における HIV 確認検査に関するアンケート調査結果。病原微生物検出情報、45、10、165-166、2024。
- 4) 佐野貴子、豊倉いつみ、稲田貴嗣、渡邊寿美、鈴木理恵子、伊藤舞、木村睦未、大屋日登美、櫻木淳一。神奈川県域における手足口病およびヘルパンギーナ患者の発生動向と検出ウイルス株の解析（2016～2023 年）。神奈川県衛生研究所研究報告、54、24-30、2024。
- 5) Minoru Kidokoro, Teiichiro Shiino, Tomohiro Yamaguchi, Eri Nariai, Hiroe Kodama, Keiko Nakata, Takako Sano, Keiko Gotou, Tomoko Kisu, Tomomi Maruyama, Yumani Kuba, Wakako Sakata, Teruaki Higashi, Naoko Kiyota, Takashi Sakai, Shunsuke Yahiro, Akira Nagita, Kaori Watanabe, Chika Hirokawa, Hirotune Hamabata, Yoshiki Fujii, Miwako Yamamoto, Hajime Yokoi, Misako Sakamoto, Hiroyuki Saito, Chihiro Shibata, Machi Inada, Misako Fujitani,

Hiroko Minagawa, Miyabi Ito, Akari Shima, Keiko Murano, Hiroshi Katoh, Fumihiko Kato, Makoto Takeda, Shigeru Suga and The Surveillance Team for Mumps Virus in Japan. Nationwide and long-term molecular epidemiologic study of mumps viruses that circulated in Japan between 1986 and 2017. Front. Microbiol. 13:728831. doi: 10.3389/fmicb.2022.728831

2.学会発表

- 1) 佐野貴子、小松洋介、伊藤淳、鈴木堯大、鈴木理恵子、渡邊寿美、大屋日登美、山田壮一、多屋馨子。神奈川県内の水痘入院例患者から検出された水痘帯状疱疹ウイルスのワクチン株と野生株の分別。第 28 回日本ワクチン学会・第 65 回日本臨床ウイルス学会合同学術集会、2024 年 10 月 26-27 日、名古屋。
- 2) 佐野貴子、土屋菜歩、渡邊大地、須藤弘二、近藤真規子、星野慎二、井戸田一朗、清水茂徳、生島 嗣、岩橋恒太、今井光信、加藤真吾、市川誠一、白阪琢磨、今村顕史。ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」のサイト利用状況および新規ウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」の開設について。第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会、2024 年 11 月 28-30 日、東京。
- 3) 川畑拓也、阪野文哉、浜みなみ、長島真美、河上麻美代、貞升健志、佐野貴子、近藤真規子、須藤弘二、加藤真吾、今村顕史。地方衛生研究所における HIV 確認検査に関するアンケート調査結果。第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会、2024 年 11 月 28-30 日、東京。

- 4) 土屋菜歩、佐野貴子、城所敏英、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤眞吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史. 保健所・検査所における HIV 検査・相談体制と実施状況および課題に関するアンケート調査. 第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会、2024 年 11 月 28-30 日、東京.
- 5) 土屋菜歩、佐野貴子、城所敏英、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤眞吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史. 保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査. 第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会、2024 年 11 月 28-30 日、東京.
- 6) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、今村顕史、加藤眞吾. HIV 郵送検査に関する実態調査 (2023). 第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会、2024 年 11 月 28-30 日、東京.
- 7) 菊地正、西澤雅子、椎野禎一郎、豊嶋崇徳、伊藤俊広、林田庸総、瀧永博之、古賀道子、長島真美、貞升健志、佐野貴子、宇野俊介、谷口俊文、猪狩英俊、寒川整、中島英明、吉野友祐、堀場昌英、茂呂寛、渡邊珠代、今橋真弓、蜂谷敦子、松田昌和、重見麗、岡崎玲子、岩谷靖雅、横幕能行、渡邊大、阪野文哉、川畑拓也、藤井輝久、高田清式、中村麻子、南留美、松下修三、仲村秀太、小島潮子、Lucky Runtuwene、吉村和久、杉浦互. 2023 年の国内新規診断未治療 HIV 感染者・AIDS 患者における薬剤耐性 HIV-1 の動向. 第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会、2024 年 11 月 28-30 日、東京.
- 8) 星野慎二、吉村幸浩、宮島真希子、李広烈、沢田貴志、佐野貴子、近藤真規子、今村顕史、井戸田一朗. SHIP における MSM を対象とした HIV/STIs 無料検査相談事業の実績. 日本性感染症学会第 37 回学術大会シンポジウム、2024 年 11 月 30 日-12 月 1 日、沖縄.
- 9) 佐野貴子、近藤真規子、須藤弘二、櫻木淳一、今井光信、加藤眞吾、今村顕史. 民間臨床検査センターにおける HIV 検査等の実施状況および確認 IC 法検査試薬導入に関する調査. 第 37 回日本エイズ学会学術集会・総会、2023 年 12 月 3-5 日、京都.
- 10) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、今村顕史、加藤眞吾. HIV 郵送検査に関する実態調査 (2022). 第 37 回日本エイズ学会学術集会・総会、2023 年 12 月 3-5 日、京都.
- 11) 浅野真、高野政志、石橋理子、佐野貴子、瀬戸理玄、谷村憲司、多田和美、松田秀雄、桃原祥人、森實真由美、榎本美喜子、藤田綾、出口雅士、吉野直人、高橋尚子、杉浦敦、田中瑞恵、北島浩二、山田里佳、林公一、喜多恒和. 啓発資料事前配布による妊娠初期女性の HIV 感染・性感染症に対する理解度調査. 第 37 回日本エイズ学会学術集会・総会、2023 年 12 月 3-5 日、京都.
- 12) 菊地正、西澤雅子、小島潮子、大谷眞智子、Lucky Runtuwene、椎野禎一郎、豊嶋崇徳、伊藤俊広、林田庸総、瀧永博之、岡慎一、古賀道子、長島真美、貞升健志、佐野貴子、近藤真規子、宇野俊介、谷口俊文、猪狩英俊、寒川整、中島英明. 2022 年の国内新規診断未治療 HIV 感染者・AIDS 患者における薬剤耐性 HIV-1 の動向. 第 37 回日本エイズ学会学術集会・総会、2023 年 12 月 3-5 日、京都.

- 13) 佐野貴子、豊倉いつみ、渡邊大地、政岡智佳、稲田貴嗣、鈴木理恵子、渡邊寿美、櫻木淳一、多屋馨子。神奈川県内の水痘入院例患者から検出された水痘帯状疱疹ウイルスのワクチン株と野生株の分別。第 37 回関東甲信静支部ウイルス研究部会、2023 年 9 月 28-29 日、東京。
- 14) 小松洋介、清水博之、佐野貴子、多屋馨子、山田壮一、遠坂崇、田中嵩人、坂田雄祐、待鳥航、落合雄人、小堀大河、佐藤睦美、伊藤淳、小郷寛史、中村智子、松田基。水痘ワクチン株により播種性帯状疱疹を発症した 11 歳女児例。第 126 回日本小児科学会学術集会、2023 年 4 月 14-16、東京。
- 15) 佐野貴子、近藤真規子、須藤弘二、櫻木淳一、井戸田一朗、今井光信、加藤眞吾、今村顕史。COVID-19 流行下における民間臨床検査センターでの HIV 検査等の実施状況に関する調査。第 36 回日本エイズ学会学術集会・総会、2022 年 11 月 18-20 日、浜松。
- 16) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、今村顕史、加藤眞吾。HIV 郵送検査に関する実態調査 (2021)。第 36 回日本エイズ学会学術集会・総会、2022 年 11 月 18-20 日、浜松。
- 17) 土屋菜歩、佐野貴子、城所敏英、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤眞吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史。COVID-19 流行下での保健所・特設検査所における HIV 検査・相談実施状況と課題及び工夫。第 36 回日本エイズ学会学術集会・総会、2022 年 11 月 18-20 日、浜松。
- 18) 近藤真規子、佐野貴子、須藤弘二、井戸田一朗、土屋菜歩、貞升健志、今井光信、加藤眞吾、櫻木淳一、中澤よう子、今村顕史。新型コロナウイルス感染症流行禍の 2 年間 (2020-2021 年) における HIV 検査体制の実態。第 36 回日本エイズ学会学術集会・総会、2022 年 11 月 18-20 日、浜松。
- 19) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、今村顕史、加藤眞吾。郵送検査における HIV 郵送検査と陽性数の推移。日本性感染症学会第 35 回学術大会、2022 年 12 月 3-4 日、北九州。
- 20) 鈴木理恵子、佐野貴子、日紫喜隆行。新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) Spike 領域の遺伝子解析による変異株検出について。第 81 回日本公衆衛生学会、2022 年 10 月 7-9、甲府。
- 21) 鈴木理恵子、佐野貴子、櫻木純一、多屋馨子、志村紀彰、大濱永史、石田彩子、片山公美、阿南弥生子。COVID-19 感染後の急性脳炎例からの SARS-CoV-2 検出について。第 90 回神奈川県感染症医学会、2022 年 12 月 3 日、横浜。

G. 知的所有権の取得情報

なし

図1

ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」

<https://www.hivkensa.com>

2001年9月開設

[PC]



[SP]



図2

ウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」

<https://www.stikensa.com>

2024年3月開設

[PC]



[SP]



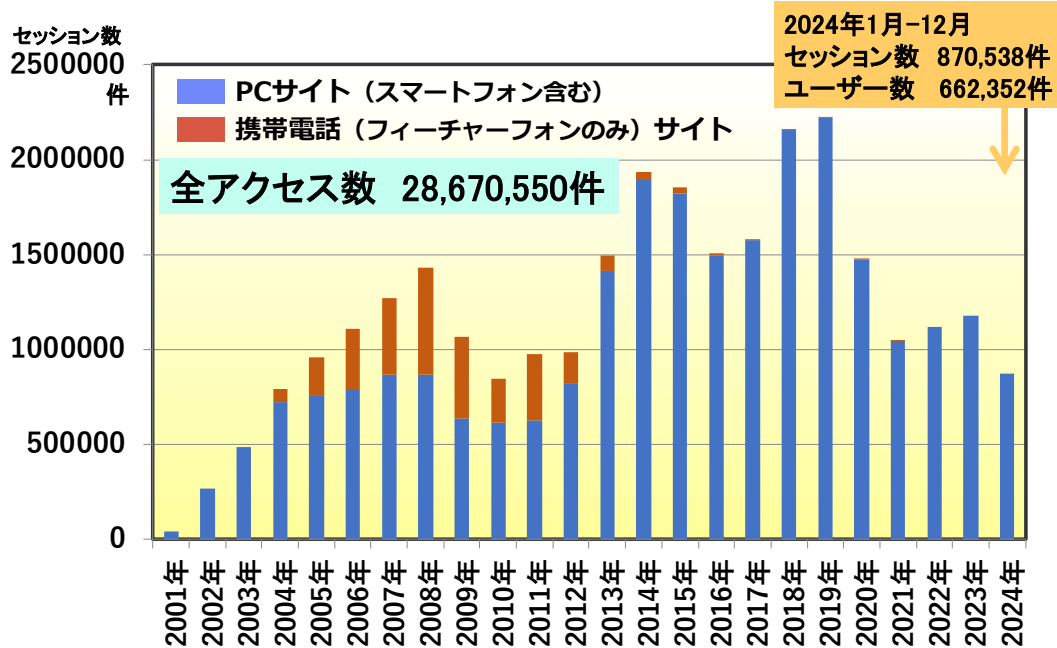
図3

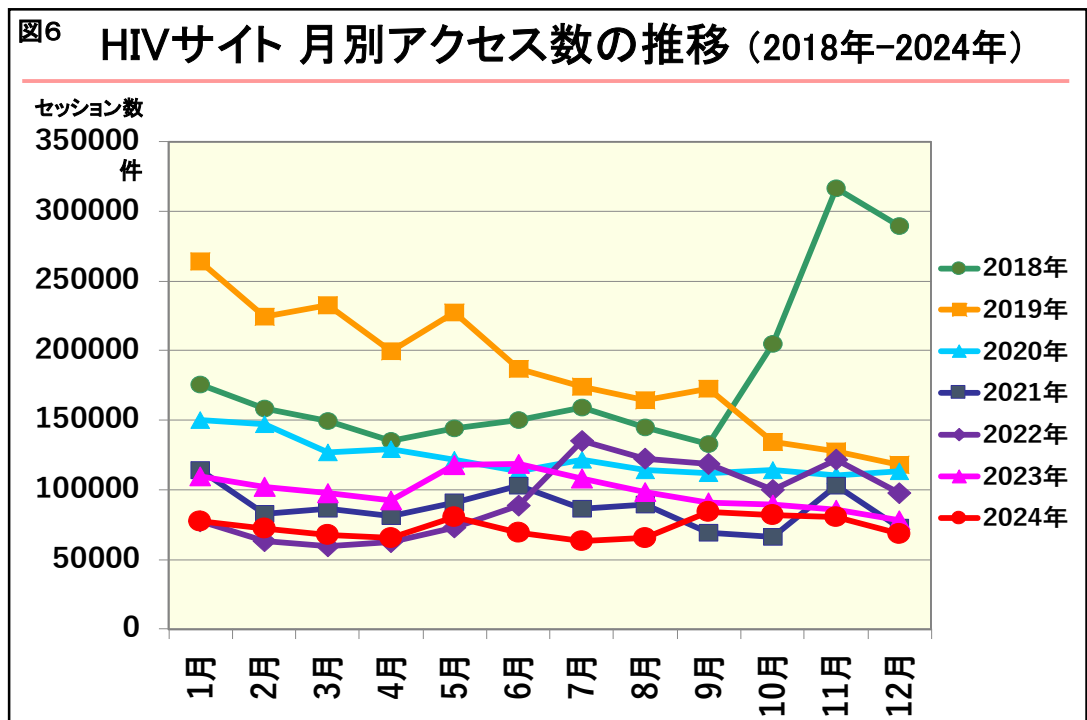
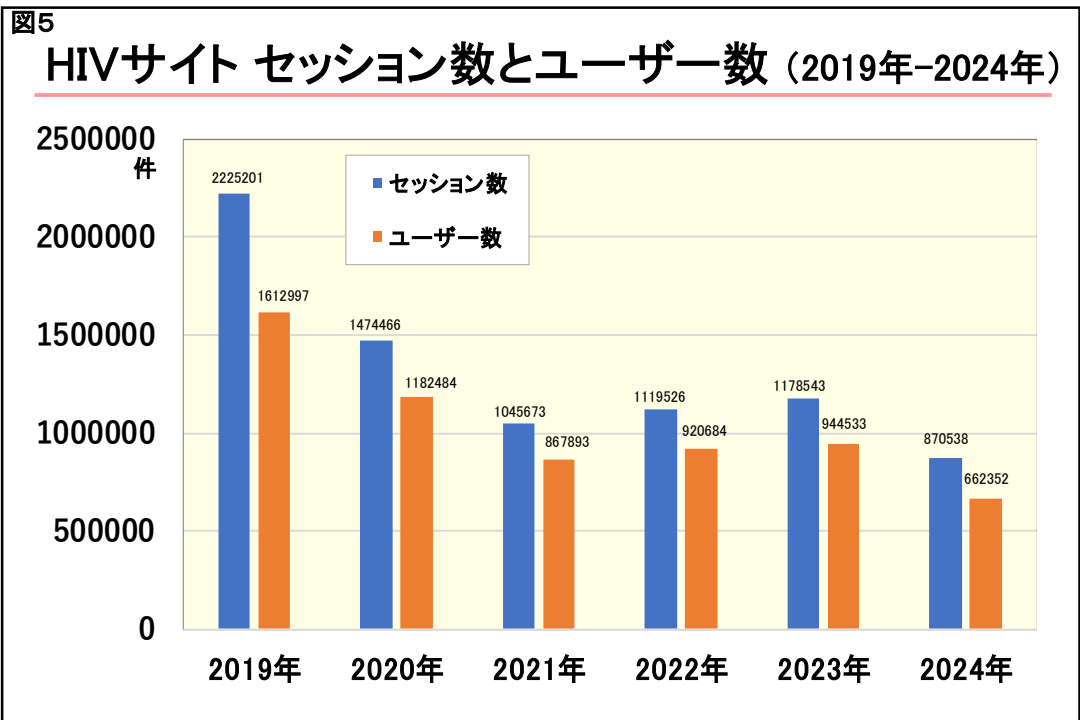
HIV検査・相談マップ掲載の施設情報、 検査イベント情報、情報修正依頼件数

掲載・修正依頼	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
施設情報	647	652	657	661	663	662
検査イベント情報	145	46	69	113	163	177
情報修正依頼	420	344	351	285	421	604 (うち検査施設依頼482)

図4

HIVサイトアクセス数（2001年-2024年）





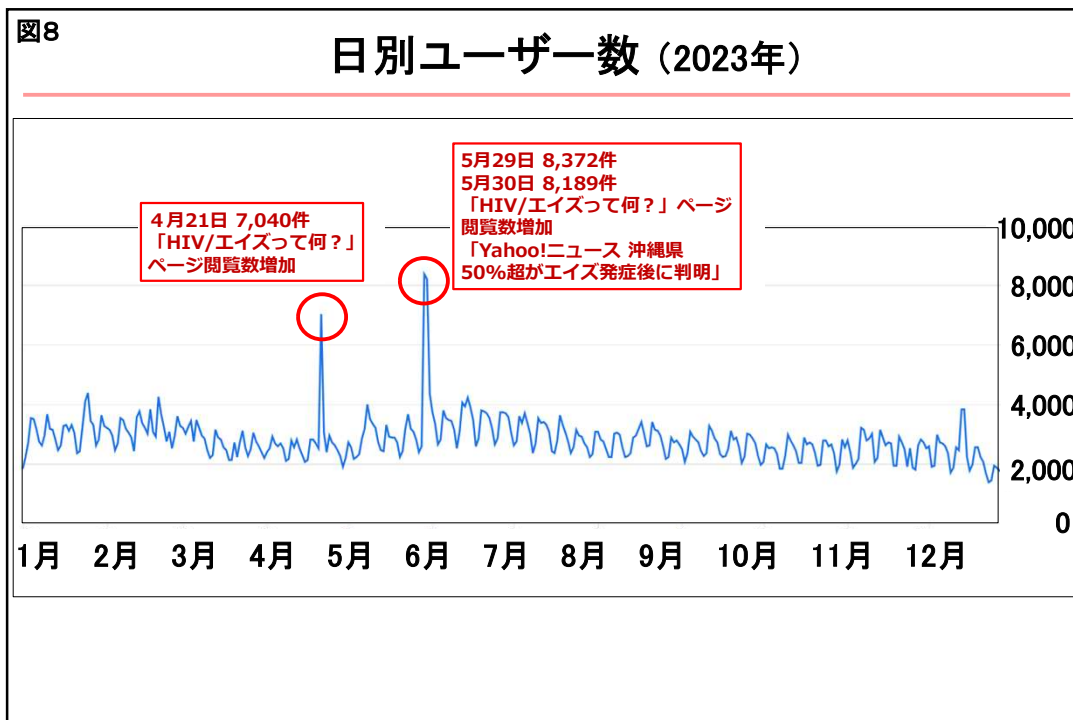
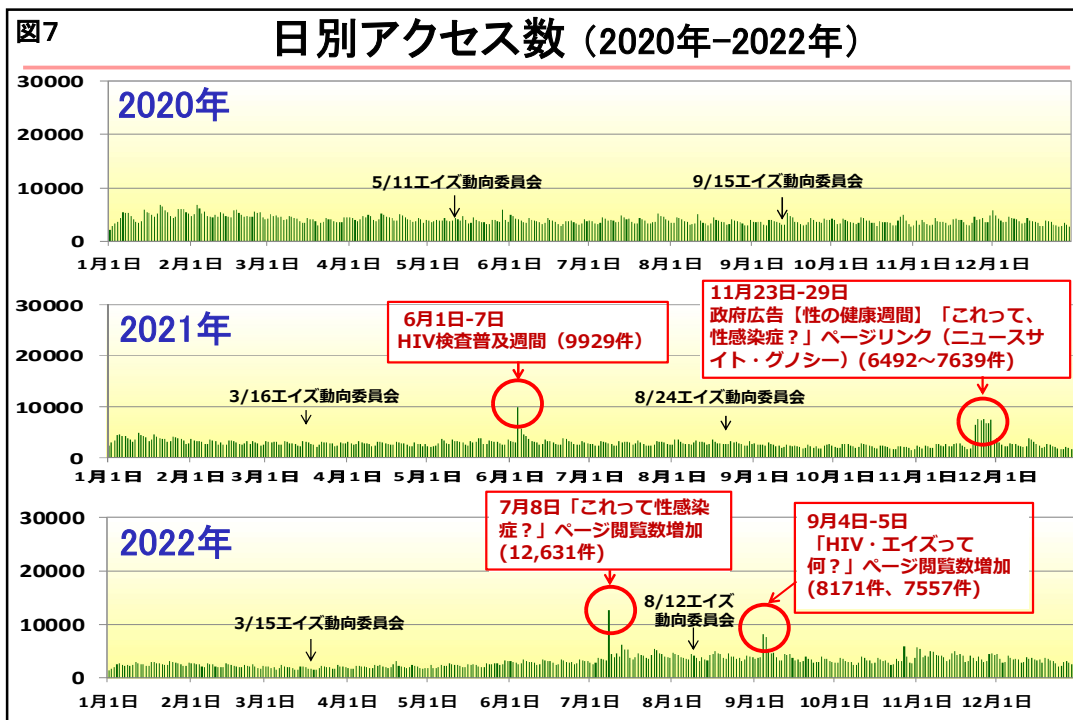


図9

HIVサイト 日別ユーザー数（2024年）

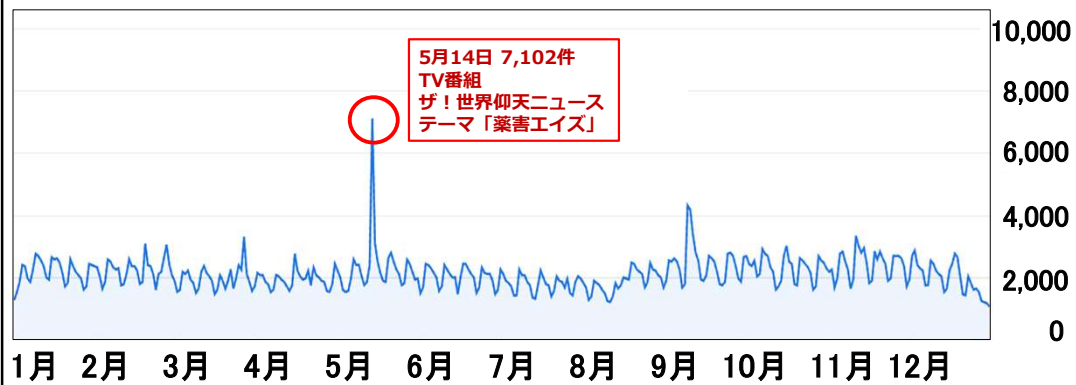


図10

HIVサイト 情報端末別ユーザー数の割合（2024年）

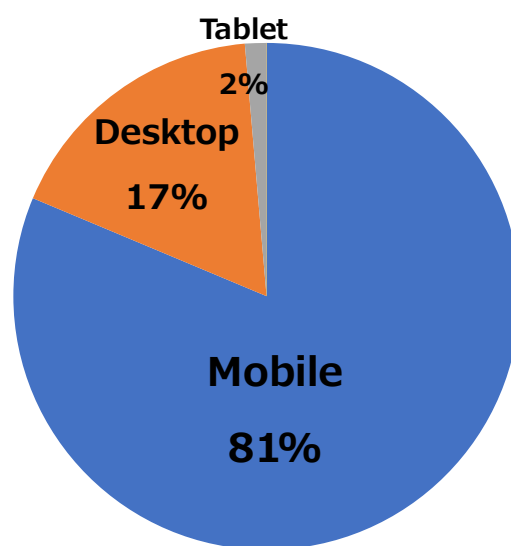


図11

HIVサイト チャンネル別ユーザー割合（2024年）

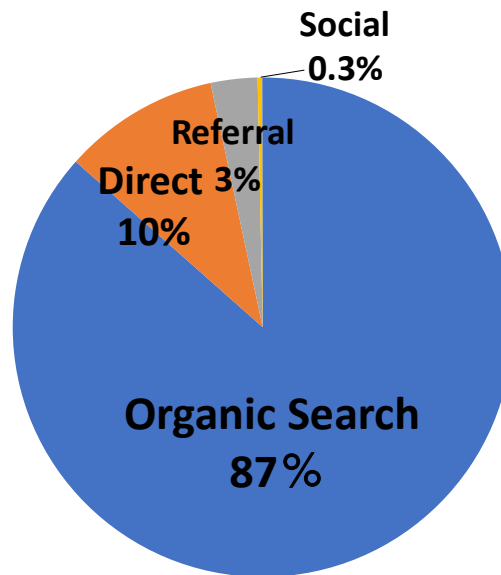


図12

検索エンジン 検索クエリ別月別検索順位 (Google) (2022年)

検索クエリ	Google件数 (2023年1月)	2022年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
HIV	1,730,000,000	6	6	6	8	6	4	1	1	1	1	1	1
エイズ	6,940,000	11	11	11	10	8	4	2	2	2	2	2	2
AIDS	1,510,000,000	17	16	15	15	10	5	5	4	4	4	4	4
HIV 検査	3,090,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
エイズ 検査	2,040,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
HIV test	1,860,000,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
HIV 検査 キット	668,000	13	13	13	12	11	6	6	6	7	7	5	6
性病	23,500,000	28	30	23	29	5	4	4	4	4	5	5	5
梅毒	7,990,000	52	52	50	40	31	15	4	5	5	5	4	5

(PC版 検索順位チェックツールGRCで解析)

図13

検索エンジン 検索クエリ別月別検索順位(Google)

(2023年)

検索クエリ	Google件数 (2024年1月)	2023年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
HIV	2,000,000,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
エイズ	7,080,000	2	1	1	1	1	2	1	1	2	2	2	3
AIDS	2,140,000,000	4	4	5	5	3	2	3	3	4	5	6	6
HIV 検査	3,260,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
エイズ 検査	2,090,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
HIV test	763,000,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
HIV 検査 キット	358,000	7	5	4	5	7	4	5	5	7	8	11	9
性病	36,000,000	4	4	4	5	3	3	4	4	3	2	2	2
梅毒	15,800,000	9	43	48	54	45	55	55	39	34	36	25	20

(PC版 検索順位チェックツールGRCで解析)

図14

HIVサイト Google検索クエリ別月別検索順位

(2024年)

検索クエリ	Google件数 (2025年1月)	2024年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
HIV	1,370,000,000	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1
エイズ	7,220,000	4	4	5	6	4	4	4	3	2	1	1	1
AIDS	1,450,000,000	5	5	6	5	5	5	5	4	4	3	2	2
HIV 検査	4,910,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
エイズ 検査	3,370,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
HIV test	646,000,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
HIV 検査 キット	668,000	13	15	15	14	15	10	11	10	9	11	10	10
性病	45,700,000	2	3	3	3	4	4	2	2	2	2	2	2
梅毒	15,000,000	23	29	26	35	32	28	18	9	5	5	6	5

(PC版 検索順位チェックツールGRCで解析)

図15

検索エンジン 検索クエリ別順位 (Google)

(2022年)

順位	検索クエリ	クリック数	平均掲載順位
1	性病 症状	48,841	1.7
2	hiv	26,188	4.2
3	エイズ	15,994	5.0
4	梅毒	15,681	6.8
5	hiv 検査	13,881	1.1
6	hivとは	12,097	3.3
7	エイズとは	11,582	4.6
8	エイズ検査	7,669	1.2
9	hiv 感染率	6,254	2.0
10	梅毒 症状	5,859	7.3

図16

検索エンジン 検索クエリ別順位 (Google)

(2023年)

順位	検索クエリ	クリック数	平均掲載順位
1	hiv	32,425	2.4
2	エイズ	30,872	2.5
3	hiv 検査	16,477	1.1
4	エイズとは	16,189	2.3
5	hivとは	16,167	2.3
6	性病検査	12,564	6.3
7	性病	12,351	4.8
8	エイズ症状	9,728	5.4
9	hiv 心配しすぎ	8,216	3.8
10	性病検査 無料	6,006	3.1

図17

HIVサイト Google検索クエリ別順位

(2024年)

順位	検索クエリ	クリック数	平均掲載 順位
1	hiv	22,160	2.7
2	hiv 検査	19,451	1.2
3	エイズとは	17,550	2.5
4	エイズ	15,022	4.0
5	hivとは	14,335	2.2
6	性病	7,749	5.1
7	エイズ症状	7,644	6.2
8	梅毒症状	7,558	8.3
9	梅毒	6,068	8.7
10	性病症状	5,136	4.6

図18

参照元からのアクセス数 (2022年)

	参照元	セッション数
1	Google 検索	751,083
2	Yahoo! JAPAN 検索	199,515
3	Direct access	106,970
4	bing 検索	15,077
5	ドコモ 検索	14,365
6	au 検索	3,161
7	Twitter リンク	2,557
8	厚生労働省	1,738
9	東京都新宿東口検査・相談室	1,194
10	楽天 ウェブ検索	1,170
11	姫路市	1,136
12	HIVマップ	1,128

図19

参照元からのユーザー数（2023年）

	参照元	ユーザー数
1	Google 検索	655,598
2	Yahoo! JAPAN 検索	152,596
3	Direct access	86,762
4	ドコモ 検索	8,395
5	bing 検索	7,727
6	症状検索エンジン ユビー	2,703
7	au 検索	2,554
8	X（旧Twitter）リンク	1,742
9	厚生労働省	1,484
10	世田谷区	954
11	楽天 ウェブ検索	892
12	エイズ予防情報ネット(API-Net)	796

図20

HIVサイト 参照元からのユーザー数（2024年）

	参照元	ユーザー数
1	Google 検索	452,325
2	Yahoo! JAPAN 検索	111,730
3	Direct access	68,667
4	bing 検索	8,617
5	ドコモ 検索	6,607
6	au 検索	1,719
7	楽天 ウェブ検索	1,118
8	性感染症検査・相談マップ	1,065
9	X（旧Twitter）リンク	931
10	エイズ予防情報ネット(API-Net)	893
11	日本赤十字社	819
12	厚生労働省	814

図21

サイトコンテンツの表示回数(2022年)

表示回数合計 1,942,103件

	サイトコンテンツ	ページビュー数
1	これって、性感染症？	295,522
2	HIV・エイズって何？	241,539
3	トップページ	220,074
4	梅毒って、なに？	57,059
5	検査・相談施設を探す	54,604
6	HIV検査まめ知識	50,423
7	HIV検査Q&A	39,220
8	東京都検索結果一覧	26,124
9	全国検索結果一覧	21,545
10	chotCAST (大阪検査相談・啓発・支援センター)	20,580

図22

サイトコンテンツの表示回数(2023年)

表示回数合計 2,028,811件

	サイトコンテンツ	表示回数
1	全国検索結果一覧	387,666
2	HIV・エイズって何？	310,734
3	これって、性感染症？	252,928
4	トップページ	215,052
5	HIV検査まめ知識	67,706
6	検査・相談施設を探す	67,168
7	HIV検査Q&A	46,360
8	梅毒って、なに？	30,283
9	検査イベント情報	28,177
10	chotCAST (大阪検査相談・啓発・支援センター)	21,705

図23

HIVサイトコンテンツの表示回数(2024年)

表示回数合計 1,530,808件

	サイトコンテンツ	表示回数
1	検査・相談施設を探す	326,352
2	HIV・エイズって何？	244,824
3	トップページ	166,046
4	これって、性感染症？	61,839
5	梅毒って、なに？	55,129
6	HIV検査まめ知識	53,334
7	HIV検査Q&A	25,440
8	検査イベント情報	23,157
9	chotCAST (大阪検査相談・啓発・支援センター)	18,775
10	電話・LINE相談窓口	14,712

図24

検査・相談施設別表示回数(2022年)

	検査・相談施設	アクセス数
1	chotCAST(大阪検査相談・啓発・支援センター)火・木・土・日曜日検査	20,580
2	東京都新宿東口検査・相談室	11,065
3	神戸市保健所(検査会場:三宮センタープラザ西館6階)	7,919
4	札幌市中央保健センター	6,111
5	福岡市博多区保健福祉センター	5,556
6	八代保健所	4,442
7	さいたま市HIV即日検査	4,091
8	大阪市中央区保健福祉センター	3,859
9	宮崎県小林保健所	3,786
10	神奈川県HIV即日検査センター 休日検査	3,599
11	宮崎県高鍋保健所	3,512
12	加古川健康福祉事務所(加古川保健所)	3,209
13	千代田区千代田保健所	3,001
14	愛知県衣浦東部保健所	2,992
15	和歌山市保健所	2,941

図25

検査・相談施設別表示回数（2023年）

	検査・相談施設	表示回数
1	chotCAST(大阪検査相談・啓発・支援センター)火・木・土・日曜日検査	21,705
2	東京都新宿東口検査・相談室	11,512
3	札幌市中央保健センター	8,162
4	神戸市保健所(検査会場:三宮センタープラザ西館6階)	7,484
5	福岡市博多区保健福祉センター	5,353
6	池袋保健所	4,636
7	大阪市中央区保健福祉センター	3,942
8	仙台市HIV・梅毒夜間即日検査	3,938
9	和歌山市保健所	3,917
10	鹿児島市保健所 中央保健センター	3,817
11	新宿区保健所健診会場	3,803
12	愛知県衣浦東部保健所	3,651
13	さいたま市HIV即日検査	3,584
14	プライベートケアクリニック東京 新宿院	3,570
15	静岡県東部健康福祉センター(東部保健所)	3,496

図26

HIVサイト 検査・相談施設別表示回数（2024年）

	検査・相談施設	表示回数
1	chotCAST(大阪検査相談・啓発・支援センター)火・木・土・日曜日検査	18,775
2	東京都新宿東口検査・相談室	10,188
3	札幌市中央保健センター	7,811
4	神戸市保健所(検査会場:三宮センタープラザ西館6階)	5,570
5	京都市(昼間検査・夜間検査)(検査会場:一般財団法人京都工場保健会)	3,618
6	加古川健康福祉事務所(加古川保健所)	3,503
7	藤沢市保健所	3,501
8	茨木保健所	3,234
9	大阪市北区保健福祉センター	3,219
10	和歌山市保健所	3,207
11	静岡県東部健康福祉センター(東部保健所)	3,101
12	あいクリニック	3,079
13	大阪市中央区保健福祉センター	3,058
14	愛知県衣浦東部保健所	3,006
15	新宿区保健所健診会場	3,003

図27

アクセス地域およびアクセス言語（2022年）

アクセス国	ユーザー数	アクセス言語	ユーザー数
Japan	883,542	日本語	773,502
United States	3,078	日本語(日本)	95,699
China	2,217	英語(米国)	17,897
Thailand	1,136	中国語(簡体)	4,715
Indonesia	778	英語(英国)	2,788
Canada	645	ベトナム語	1,709
South Korea	607	英語	718
Vietnam	525	英語(オーストラリア)	664
France	499	韓国語	572
Australia	479	ポルトガル語(ブラジル)	535

図28

アクセス地域およびアクセス言語（2023年）

アクセス国	ユーザー数	アクセス言語	ユーザー数
Japan	929,659	Japanese	907,943
United States	2,684	English	25,107
China	2,088	Chinese	6,167
Thailand	1,833	Vietnamese	2,156
Indonesia	989	Korean	751
Australia	750	Portuguese	672
France	715	French	411
Vietnam	710	Spanish	316
South Korea	685	Indonesian	186
Canada	626	German	180

図29

HIVサイト アクセス地域および言語（2024年）

アクセス国	ユーザー数	アクセス言語	ユーザー数
Japan	643,818	Japanese	626,623
China	2,883	English	20,448
United States	2,520	Chinese	5,771
Thailand	1,297	Vietnamese	2,313
Indonesia	836	Portuguese	651
Australia	566	Korean	607
Vietnam	526	French	352
France	500	Spanish	352
Philippines	492	Indonesian	249
Taiwan	489	Thai	182

図30

外国語ページのページビュー数（2022年-2024年）

言語	2022年	2023年	2024年
英語	4,751	7,533	7,147
ベトナム語	2,023	1,986	1,900
やさしい日本語	1,095	1,489	1,485
中国語	892	1,198	916
ポルトガル語	377	673	689
タイ語	163	295	326
スペイン語	133	164	244
タガログ語	103	144	92
韓国語	20	49	59

図31

(2022年-2024年)

ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」を ご覧になったことはありますか？

保健所	2022年	2023年	2024年
回答数	352	426	386
はい	318 (90%)	395 (93%)	364 (94%)
いいえ	31 (9%)	30 (7%)	21 (6%)
未回答	3 (1%)	1 (0%)	1 (0%)

特設検査施設	2022年	2023年	2024年
回答数	17	17	17
はい	17 (100%)	15 (88%)	15 (83%)
いいえ	0 (0%)	2 (12%)	0 (0%)
未回答	0 (0%)	0 (0%)	3 (17%)

図32

(2022年)

COVID-19によりHIV検査日程が変更・中止に なった際に当サイトに修正依頼を送りましたか？

保健所	2022年
回答数	352
はい	74 (21%)
いいえ	148 (42%)
変更中止なし	126 (36%)
未記入	4 (1%)

特設検査施設	2022年
回答数	17
はい	10 (59%)
いいえ	1 (6%)
変更中止なし	5 (29%)
未記入	1 (6%)

図33

(2022年-2024年)

「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思いますか？

保健所	2022年	2023年	2024年
回答数	352	426	386
はい	220 (63%)	325 (76%)	294 (76%)
いいえ	8 (2%)	3 (1%)	5 (1%)
不明	119 (34%)	95 (22%)	85 (22%)
未回答	5 (1%)	3 (1%)	2 (1%)

特設検査施設	2022年	2023年	2024年
回答数	17	17	18
はい	15 (88%)	14 (82%)	13 (72%)
いいえ	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
不明	1 (6%)	3 (18%)	2 (11%)
未回答	1 (6%)	0 (0%)	3 (17%)

図34

地域ブロック別の中止・縮小割合(自治体数)

地域ブロック	2023年 掲載自治体数	2020年				2021年				2022年				2023年			
		3月末時点	5月末時点	9月末時点	12月末時点	3月末時点	5月末時点	9月末時点	12月末時点	3月末時点	5月末時点	9月末時点	12月末時点	1月末時点	3月末時点	5月末時点	12月末時点
北海道	5	0%	60%	40%	60%	20%	40%	20%	0%	0%	20%	20%	20%	20%	20%	0%	0%
東北	15	0%	27%	20%	20%	53%	53%	60%	40%	53%	40%	47%	20%	20%	20%	13%	7%
関東甲信越 (うち1都3県)	56 (42)	31% (33%)	76% (91%)	49% (52%)	46% (52%)	46% (52%)	50% (55%)	73% (74%)	43% (43%)	61% (60%)	46% (45%)	55% (52%)	30% (24%)	32% (26%)	32% (26%)	14% (12%)	2% (2%)
北陸	6	0%	33%	33%	17%	17%	17%	33%	17%	33%	17%	17%	0%	0%	0%	0%	0%
東海	13	42%	92%	67%	67%	54%	54%	77%	38%	69%	54%	62%	31%	31%	23%	8%	0%
近畿	24	17%	67%	33%	17%	21%	42%	38%	21%	33%	25%	33%	25%	25%	17%	4%	0%
中国/四国	19	5%	42%	32%	21%	26%	32%	32%	16%	37%	32%	37%	21%	21%	11%	5%	5%
九州/沖縄	18	33%	61%	50%	39%	33%	17%	44%	33%	39%	28%	28%	22%	22%	22%	17%	0%
総計	156	21%	61%	42%	36%	38%	42%	55%	32%	48%	37%	44%	25%	26%	22%	10%	2%

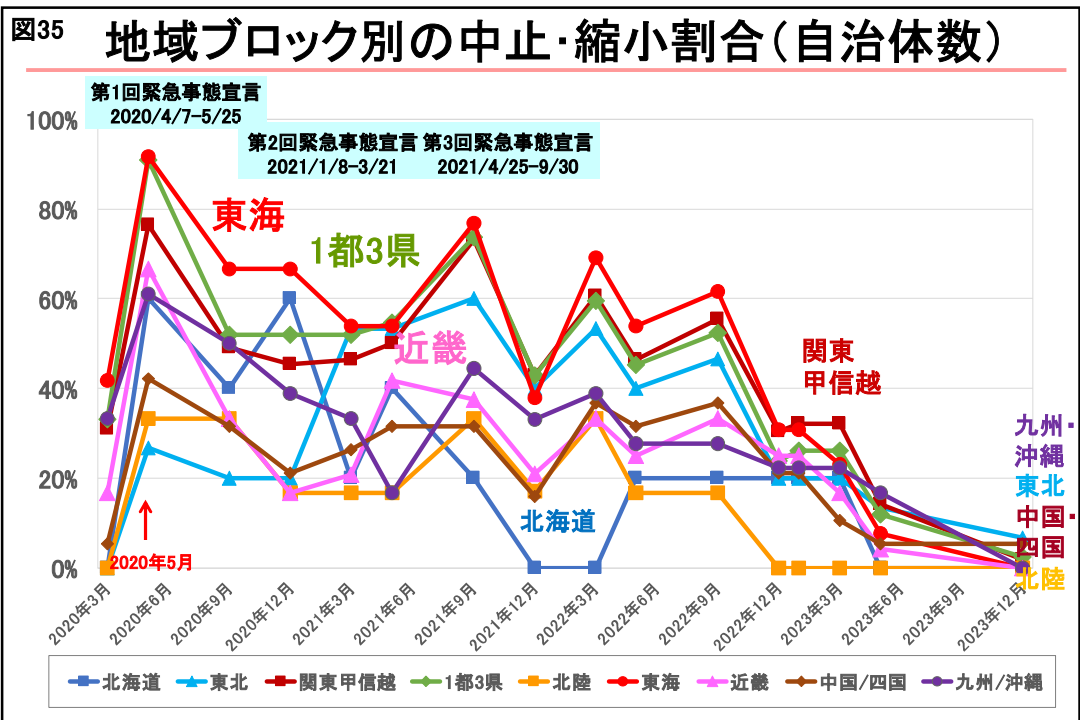


図36 地域ブロック別の中止・縮小割合(施設数)

地域ブロック	2023年 掲載 施設数	2020年				2021年				2022年				2023年			
		3月末 時点	5月末 時点	9月末 時点	12月 末 時点	3月末 時点	5月末 時点	9月末 時点	12月 末 時点	3月末 時点	5月末 時点	9月末 時点	12月 末 時点	1月末 時点	3月末 時点	5月末 時点	12月 末 時点
北海道	40	0%	33%	30%	30%	3%	30%	5%	0%	0%	3%	3%	3%	3%	3%	0%	0%
東北	57	0%	12%	10%	13%	29%	26%	27%	19%	31%	26%	24%	17%	18%	18%	11%	2%
関東甲信越	173	11%	44%	26%	22%	23%	25%	46%	20%	30%	28%	36%	22%	23%	18%	6%	1%
(うち1都3県)	(114)	(13%)	(63%)	(33%)	(32%)	(32%)	(33%)	(59%)	(27%)	(34%)	(33%)	(40%)	(26%)	(27%)	(21%)	(6%)	(1%)
北陸	22	0%	9%	9%	5%	5%	5%	9%	5%	9%	5%	5%	0%	0%	0%	0%	0%
東海	59	10%	55%	38%	38%	12%	46%	61%	8%	63%	29%	54%	7%	7%	5%	2%	0%
近畿	79	7%	40%	13%	5%	10%	16%	15%	10%	13%	9%	13%	10%	10%	6%	1%	0%
中国・四国	73	1%	20%	13%	14%	9%	19%	11%	8%	22%	11%	12%	7%	7%	4%	3%	1%
九州・沖縄	86	12%	29%	20%	21%	13%	8%	15%	7%	13%	16%	28%	19%	19%	19%	19%	0%
総計	589	7%	33%	21%	19%	16%	22%	29%	12%	25%	19%	26%	14%	14%	12%	6%	1%

地域ブロック別の中止・縮小割合（施設数）



ダイナスクリーン HIV Combo 受注停止



サイト閲覧時にHIV即日検査受検に係わる
注意喚起文をポップアップ表示

[illegible]

	HIV検査 受付中止	縮小 (一時的に日数・ 定員・調整等)	即日のみ中止 (一時的に即日 →通常に変更)	STI検査のみ 実施	元の体制に 戻る	即日検査から 通常検査に 体制変更	検査体制を 変更した 合計施設数
2024年8月末 ダイナスクリーン HIV Combo 出荷停止							
2024/9/20時点	2	3	16 (うち特設1)	6 (うち特設2)	0	0	27
2024/10/1時点	9 (うち特設2)	6	22 (うち特設1)	9 (うち特設2)	0	0	46
2024年9月末 ダイナスクリーン HIV Combo 海外販売向け製品再包装/使用期限切迫品 臨時出荷							
2024/10/9時点	8 (うち特設1)	4	29	9 (うち特設3)	7 (うち特設2)	0	57
2024/10/11時点	7 (うち特設1)	5	23	3	19 (うち特設5)	0	57
2024/10/30時点	4	4	17	2	30 (うち特設6)	2	59
2024/11/20時点	3	3	18	1	33 (うち特設6)	3	61
2024年12月16日 ダイナスクリーン HIV Combo 出荷再開							
2024/12/16時点	1	2	14	0	40 (うち特設6)	12	69
2025/1/14時点	1	2	8	0	52 (うち特設6)	6	69

HIV検査・相談マップ掲載数 (うち即日検査施設数)	保健所 566(346)	特設検査施設 22(18)
-------------------------------	-----------------	------------------

図41

性感染症検査・相談マップ掲載の施設情報、 検査イベント情報、情報修正依頼件数

掲載・修正依頼	2024年
施設情報	659
検査イベント情報	177
情報修正依頼	601 (うち検査施設依頼 482)

図42

性感染症サイト セッション数およびユーザー数

2024年	セッション数	ユーザー数
4月	371	171
5月	491	261
6月	338	233
7月	645	390
8月	175,492	160,156
9月	1,651	1,385
10月	1,490	1,170
11月	1,143	938
12月	1,416	1,141
合計	183,037	165,845

図43

性感染症サイト 日別ユーザー数（2024年）

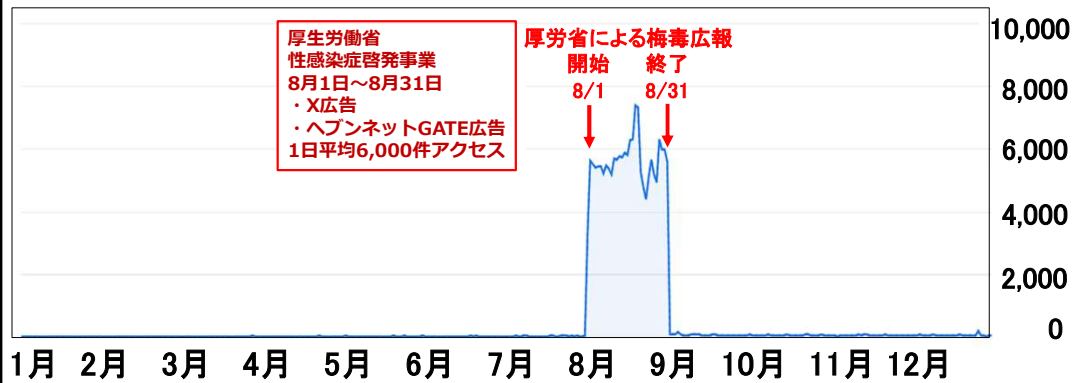


図44

性感染症サイト Google検索クエリ別月別検索順位

検索クエリ	Google件数 (2025年1月)	2024年									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
性感染症	462,000,000	—*	—	—	—	—	—	—	—	—	
性感染症検査	60,200,000	—	—	—	—	92	89	8	12	—	
性感染症検査相談	36,100,000	—	—	—	—	4	3	3	2	3	
性感染症検査相談マップ	22,000,000	—	—	—	—	2	2	1	2	2	
性病	23,000,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
性病検査	4,410,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
梅毒	9,210,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
クラミジア	4,160,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
淋病	1,270,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

*：順位チェック範囲(100位)外

(PC版 検索順位チェックツールGRCで解析)

図45

性感染症サイト Google検索クエリ別順位

(2024年)

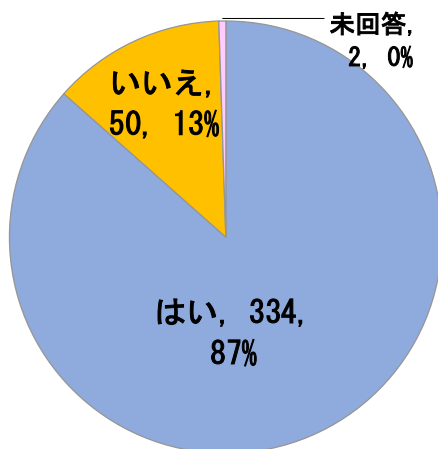
順位	検索クエリ	クリック数	平均掲載順位
1	性感染症 相談	11	13.1
2	性感染症 東大阪 無料	10	7.7
3	性感染症検査相談マップ	8	1.1
4	性病検査 仙台 即日	8	10.2
5	hiv検査相談マップ	7	4.1
6	仙台 性病検査 即日	7	10.7
7	性病 相談窓口	7	7.6
8	性病検査 仙台 男 即日	6	9.8
9	性病検査 無料 藤沢	6	7.4
10	武蔵小杉 性病検査 無料	6	6.0

図46

(2024年)

ウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」を ご覧になったことはありますか？

(保健所386件中)



(特設検査施設18件中)

